

上宇部小 実践⑨	道徳「はたけの先生」 感謝		
実施日時	12月11日(水) 1校時	実施場所	教室
対象	児童2年	指導者	栄養教諭 ・ 担任
視点	・食事の重要性 ・感謝の心 ・心身の健康 ・社会性 ・食文化 ・食品を選択する能力		
ねらい	食べ物を大切にし、食べ物の生産や調理にかかわる人々への感謝する心を育てる。		
内容	<p>めあて：「はたけの先生」を読んで、「かんしゃの気持ち」について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お世話になった人や経験について話し合う。 ○ 教材を知り、「はたけの先生」の凄さについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・80歳でも畑仕事をしていること ・さつまいもの育て方や掘り方を教えてくれたこと ○ 学校給食の野菜やお肉等の材料について、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯はお米を育てる農家の人にもお世話になっている ・調理員や栄養教諭が給食を作っている ・食材を育てたり、購入したり、調理したりしてくれた人への感謝の気持ち ○ 「かんしゃの気持ち」の伝え方を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶を気持ちを込めて大きな声で言う ・残さず食べる、減らさず食べる ・好き嫌いをせず食べる ○ これから自分が取り組みたいことをプリントに書く。 		
児童 の感想	<ul style="list-style-type: none"> ○ 減らす量を少なくして、完食したい。 ○ 牛や豚、作ってくれた人に感謝しながら「いただきます」「ごちそうさま」を言いたい。 ○ 給食を残さないように、たくさんおかわりをして喜んでもらいたい。 ○ 嫌いなものがあったとしても、せっかく作ってもらっているから残さず食べる。 		
成果と 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食べ物の大切さを理解し、給食でお世話になっている方について考え、感謝の気持ちをもつ児童が見られた。 ○ この授業で終わらせず、今後も学校生活の中で継続的に食育をしていく必要性を感じた。 		

